

### インフラ整備に必要な財源を確保するための取組は

沼津志帥会

**問** インフラ整備に必要な財源を安定的に確保するための本市の取組は。

**答** 市長／沼津駅周辺総合整備事業における都市基盤整備や沼津南一色線、東駿河湾環状道路西區間の道路整備は、本市の道路ネットワークの骨格を構築する重要な事業である。特に高規格道路の整備は、市民生活の利便性の向上に資するほか、災害時には、物資の輸送や住民の避難路として機能する。インフラ整備は、周辺の土地利用などの民間投資を生み出し、地域活動が活性化することによって本市の経済活動に大きく寄与する

ものと認識している。本市がインフラ整備を着実に進めるためには、財源確保に向けた国や県への積極的な要望活動が不可欠であり、東駿河湾環状道路については、事業主体である国に、整備を推進するための予算を確保してもらう必要がある。こうしたことから、令和七年度も国会議員、市議会議員、経済界、地元自治会と共に、要望活動を実施した。今後も官民の連携を一層強化し、地域の声を直接国や県に届け、安定的な財源確保及び事業の推進に向けた要望活動に取り組んでいく。

浅田 美重子



### 夢あじの生産・販売等を支援していく考えは

志政会

**問** 量子計算機時代到来に向けた対応策の検討状況は。

**答** 政策推進部長／国は、令和七年十一月に公表した「政府機関等における耐量子計算機暗号への移行について（中間とりまとめ）」の中で、二〇三五年を目標とした耐量子計算機暗号への移行方針を示しており、具体的な移行ステップを示す工程表については、令和八年度に策定される予定となっている。本市としては、国が今後示す工程表や具体的な技術ガイドラインの動向を注視していく。

**問** 夢あじの生産・販売等を支援し

ていく考えは。

**答** 産業振興部長／夢あじは、本市と南房総のみで養殖され、著名な料理人等から高い品質評価を受けているハイブリッド魚で、本市の新たな水産ブランドとなる可能性を有している。今後は、これまで実施してきた養殖体制の整備・強化の支援に加え、関係者と連携しながら、実販売に向けた効果的なプロモーション等に努めるとともに、地域の漁業者の所得向上と本市水産業の発展につながるよう事業拡大に向け、必要に応じて、継続的に支援していく。

小澤 隆



### マイナンバーカード関連事務等窓口改善事業に期待する効果は

市民クラブ

**問** マイナンバーカード関連事務等窓口改善事業において、マイナンバーカードオンライン窓口及びマイナンバーカード関連申請書自動作成システムを導入することで期待される効果は。

**答** 市民福祉部長／マイナンバーカードオンライン窓口は、ビデオ通話により、専用オペレーターが遠隔で手続の支援を行うもので、新規申請または十年目の更新時期を迎える市民のカード交付申請に係る支援のほか、マイナンバーでの各種手続を支援するものである。この新たな申

請窓口の設置により、市民課窓口等における混雑が緩和されるとともに、保険証のひもづけなど、目的に応じた各種手続の窓口とすることで、市民の利便性向上が期待される。マイナンバーカード関連申請書自動作成システムは、マイナンバーカードから基本情報を読み取り、電子証明書などの更新手続や暗証番号の再設定などの各種手続に係る申請書を自動で作成するもので、手続ごとに発生する手書きの負担軽減及び待ち時間の短縮により、窓口の混雑解消が期待される。

大草 満



### 本市の認知度拡大に向けた情報発信の推進は

市民クラブ

**問** 本市の認知度拡大に向けた情報発信の推進について、①ぬまづ応援推進事業におけるシティブロモーションの取組は。②ふるさと納税を通じた本市の認知度に対する認識は。

**答** 産業振興部長／日本最大級のふるさと納税イベント「ふるさとチョイス大感謝祭」や「地元愛物産展」へのイベント出展のほか、令和六年度に発足した「沼津ふるさと応援隊」の各隊員の個性を生かしたインスタグラムやYouTubeによるふるさと納税の返礼品の紹介など、本市の

魅力発信に力を入れている。②令和六年度において、ふるさと納税寄附件数は、約三十六万件となり、令和元年度の寄附件数に比べ約二十三倍に増加するとともに、複数の返礼品が寄附サイトにあって人気ランキング上位に位置するなど、本市の認知度は大きく向上していると認識している。

佐藤 健一郎



▲本市の魅力を発信する地元愛物産展